

解答用紙

※記入不要	合 計	※記入不要

問 十九 ・	問 八 七 ・	問 六	問 五	問 三 四 ・	問 二	問 一

(三)	問 十九・	問 八七・	問 六	問 五	問 三・ 四	問 一

（かざばな）

受験番号					

氏 名

問一
a
かざはな
b
収
c
とら
d
習得
e
そこ

問二
一般的言葉は、音と意味に必然的な対応関係はないが、オノマトペは、音と意味のあいだに必然的な関係がある。

問三
A
エ
B
オ
C
ウ
D
ア
E
イ
問四
イ

問五
（例）ひゅうひゅう・ぴゅうぴゅう・びゅうびゅう……

問六
どどこで何が起きていたのか、あるいは、誰がどどこで何をきいて、現場の状況といたるうちに描くことと程度特定でき、現場の状況を感覚的に描くことができる。

問七
ア
E
イ
D
ウ
A
エ
B
オ
C
問八
オ

問九
G
ア
H
エ
問十
ウ

問一
a
津々（津）
b
契機
c
ちんせん
d
うるお
e
修復（覆）

問二
③
イ
⑤
エ
問三
ウ
問四
オ

問五
A
エ
B
ア
C
ウ

問六
震災で倒れて枯れたクロマツの根が涙を流し、たのほ、大地に希望を、見た大木を描いた画家が、涙を流し、一方、モアビの大地を開発し、焼けた森の惨状を見て悲しんだため。

問七
ウ
問八
ア
×
イ
○
ウ
○
エ
×
オ
○

問九
D
オ
E
ア
F
イ
問十
エ

⑥	①
ア	ア
⑦	②
ウ	ウ
⑧	③
イ	ア
⑨	④
エ	イ
⑩	⑤
イ	エ